

○趣旨

「地方創生戦国時代」において、本県が勝ち抜くため、徳島にしかない個性や魅力を磨き、発信し、徳島の力を最大化させ、観光産業が本県の「リーディング産業」となるための指針として、新たな計画を策定するもの

○位置づけ

「もてなしの阿波とくしま観光基本条例」に基づく、観光の振興に関する基本計画

○計画期間

2024年度から2028年度までの5年間

○本県観光を取り巻く現状・課題

- ・加速する人口減少
- ・デジタル化の進展
- ・移動しやすい環境
- ・観光コンテンツの充実
- ・受入体制の整備
- ・戦略的な情報発信

○主なKPI

指標名	基準値（2022）	目標値（2028）
年間観光消費額	1,286億円	1,500億円
SNSフォロワー数（阿波ナビInstagram）	約7,000人	2.2万人
年間延べ宿泊者数	184万人	300万人
観光満足度	86.6%	90.0%

○施策展開

①国内外との動線確保

国際線・国内LCC路線の積極的誘致／四国への新幹線整備に向けた取組／公共交通の最適化・利便性向上・利用促進

②高付加価値なコンテンツの充実

自然・歴史・文化・食などサステナブルな観光資源の活用によるコンテンツ造成・ブラッシュアップ
プロスポーツチーム等との連携によるにぎわい創出
とくしまマラソン・アニメ・eスポーツなどイベントの充実
林道の活用
「釣〜リズム」推進
大鳴門橋でのサイクルイベント等による誘客促進

③持続可能な観光地づくり

ホテル誘致などによるキャパシティ拡大
質の高いサービス提供体制促進
児童生徒のあわ文化にふれる機会の充実
観光人材の確保・育成
とくしま農林漁家民宿の取組支援
徳島市中心市街地での魅力的なまちづくり推進
大鳴門橋自転車道設置推進
アリーナ整備の検討／教育旅行の受入環境整備

④国内外への情報発信の強化と

本県の認知度向上

DXを活用したデータ分析
新たな観光ブランディングによる戦略的な情報発信
旅行会社・メディア等との連携によるインバウンド誘客
国際会議などMICE誘致
スポーツ大会・合宿誘致などスポーツツーリズム推進
クルーズ船・スーパーヨットの積極誘致

⑤県産品の振興による魅力発信

アンテナショップ等を拠点とした販路拡大・販売促進・誘客促進
とくしま特選ブランド・阿波ふうどスペシャリストの活用

⑥大阪・関西万博を契機とする誘客促進

徳島パビリオン等万博会場での魅力発信
徳島「まるごとパビリオン」への誘客促進

最終案は素案（２０２３年２月策定）から主に次の点について、変更しています。

○「やることが多い、もっと絞り込んでは」といった御意見を踏まえ、全般的に記載を簡素化

※４１ページから１３ページに削減

○上位計画であり、現在策定中の「県総合計画」案を踏まえ、施策展開の項目を変更

素案	最終案
(１)「オール徳島」での観光振興の推進体制強化 (２) サステナブルな観光コンテンツの充実 (３) ビッグイベントの開催に向けた 「観光客の受入環境整備」 (４) ポストコロナ新時代に向けた 「情報発信力の強化」、「誘客営業の強化」 (５) 戦略的なインバウンド誘客の推進	(１) 国内外との動線確保 (２) 高付加価値なコンテンツの充実 (３) 持続可能な観光地づくり (４) 国内外への情報発信の強化と本県の認知度向上 (５) 県産品の振興による魅力発信 (６) 大阪・関西万博を契機とする誘客促進

※「再掲」項目を整理

※「交通アクセス」「県産品振興」「万博」関係を新たに項目立て

※「宿泊施設誘致」「まちづくり」関係について新たに記載

○ＫＰＩの項目数を１９個から７個に削減

※観光消費額の増加を「主目標」に設定

素案	最終案
(基本目標) 宿泊者数・観光入込客数・観光消費額 (参考目標) おもてなしタクシー指定車数 観光満足度／体験型教育旅行受入泊数 宿泊者割合／商談会参加者数 プロモーション回数・ロケ支援回数 コンベンション参加者数／新規取扱商品数 外国人宿泊者数 など	(主目標) 観光消費額 (副目標) SNSフォロワー数 宿泊者数 観光満足度 (参考目標) 阿波おどり空港利用者数／観光入込客数 外国人宿泊者数